

事務事業名		リニア推進事業		会計	一般会計		実施区分		
H28担当課等名		リニア推進課		事業種別	政策	開始	S50	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり					
		施策	81	交流による高付加価値化・国際化の推進					
目的	対象(誰・何を)	リニア中央新幹線整備						指標名及び単位	27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	早期開業						東京都・名古屋市間計画路線延長(km)	286
	向上させたい上位施策の成果指標	交流人口(人)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	副指標	適正に調整がなされた調整事項の割合(%)			100	100	100	100	
	副指標	地域ブランド構築に向けて取組んだ事業数			6	6	6	6	
	定性目標								
事業概要	リニア推進ロードマップの柱1(リニア本体工事関連)に基づいた、リニア中央新幹線の早期開業に向けた取組。 リニア推進ロードマップの柱3(戦略的地域づくり)に基づいた、リニア整備効果を活かすための取組。 リニア中央新幹線の推進に関する全般的取組。								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	1 リニア本体工事関連の関係機関との調整				1 式			1 1式	
	2 リニア未来都市ブランディング事業				2 式			2 1式	
	3 南信州次世代会議の支援				3 会議開催数			3 16回	
	4 リニアの推進啓発				4 冊子増刷数			4 500冊	
	5 リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会の運営				5 会議開催数			5 3回	
	6 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金の積立				6 積立額(利子含)			6 302,899,701円	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		134,993	318,676	317,731	109,903	(そ)ふるさと寄附金 38,689千円 (そ)財産収入 2,900千円			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		4,828	38,689	41,589	30,000				
一般財源		130,165	279,987	276,142	79,903				
人件費計(千円)②		46,488		33,614					
正規職員所要時間		13,000		9,400					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		181,481	318,676	351,345	109,903				
事業内容・目標達成状況の振り返り		・リニア本体工事関連は、進捗状況に合わせてJR東海及び地元との調整を行った。 ・地域ブランド構築に向けて、市民が参画するプロジェクト主体に、ランキングや海外向けのファクトブック制作に取組んだ。 ・南信州次世代会議の活動は、3つのプロジェクトに取組んだ。							
改革改善の考え方	①問題点	リニア本体工事関連は、環境影響に関する水資源等の各種調査の実施、建設発生土への対応、移転対象となる関係者向けの生活支援など課題が多い。							
	②改革提案	ブランディング事業など柱3に関連する事業については本事務事業とは切り分け、リニア地域づくり推進事業とする。							